

科目名 (Eng)		新事業開発Ⅱ (New business development Ⅱ)								
担当教員		松本 行真								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		各専攻共通 専門関連科目	2	前期	選択	2	(30)	関連	B	○
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-3), (C-4), (D-1).									
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3), 4).									
	JABEE基準1(1)との対応：【機械電気/物質環境】(d)-(2)-b), (d)-(2)-d). 【ビジコミ】d(1), d(2), g.									
授業の概要と方針		市場ニーズをどう見出して、技術とマッチングさせ、事業化、商品化していくか。その手法とプロセスについて学ぶ。								
到達目標		学ぶ点は以下の通り。 ①調査のプロセス ②機会評価と戦略シナリオの作成								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習			
前期	1	イントロダクション、 調査方法	マーケティング・リサーチの方法							
	2	調査企画の決定 調査仮説・項目の決定	調査設計の作り方				提示課題の作成（以下同）			
	3	市場機会評価	調査仮説・課題設定							
	4		調査票の作り方							
	5									
	6	調査データ入力と集計	集計ソフトの使い方							
	7	市場機会評価	実査・分析							
	8	中間報告会								
	9	事業機会評価	新事業アイディアの選別の実際							
	10									
	11									
	12	開発戦略シナリオの作成	商品の上市方法の実際							
	13									
	14									
	15	最終発表会								
試験について		前期期末試験（100分）を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時まで提出してあること。								
評価方法		前期期末試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。								
教科書		別途指示をする。								
参考書		①『マーケティング・サイエンス入門』、古川・守口・阿部、有斐閣アルマ ②『新事業開発の論理と実際』、竹山元一、日本マーケティング研究所								
関連科目		新事業開発Ⅱ、創造工学演習、物質・環境システムデザイン演習、ビジネス創造演習								
履修上の注意		創造工学演習、物質・環境システムデザイン演習、ビジネス創造演習との連携で行う。 自学自習の確認方法：授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。								